

江古田 Music School 代表、銀座のラウンジバーST.SAWAI 専属ピアニストの岩倉康浩と申します。  
今年新たにメンバーを募集するという事で、入塾を検討されている方への参考材料として 1 年の活動をセルフインタビュー形式で振り返ってみます。

Q：フリーランス塾に入って良かった事はなんですか？

フリーランス塾のメンバーとの「つながり」により、前向きな気持ちが保てた事だと思います。コロナ禍で仕事に悪影響が出た方は多いと思いますが、私の生業は不要不急業の典型につきラウンジ演奏は完全にストップ、1 回目の緊急事態発令時はレッスンも見合わせ、仕事が完全になくなりました。普通に考えればピンチ以外の何物でもありませんが、仕事がない⇒時間がある⇒e ラーニング教材の開発⇒新しい収入源の確立、という流れに繋がられたのは、フリーランス塾のメンバーとの「つながり」により得られた精神的な余裕に依る所が大きいです。

Q：フリーランス塾はどんな場ですか？

漫画「宇宙兄弟」の中に「我々は孤独だ、だが一人ではない」というセリフがありますが、これは私にとってフリーランス塾の有難さを象徴する言葉でもあります。フリーランス塾のメンバーは、それぞれ職業も年齢も属性もバラバラですが、共通しているのは Giver 気質と、他者への敬意を忘れない人達であるということ。そしてフリーランス塾では「場の心理的安全性」がしっかり保たれています。各メンバーがそれぞれの戦いを繰り広げるゲリラの集まりに必要なのは「回避地」であるという田中先生の信念のもとに、フリーランス塾ではこれがしっかり守られているので、刺激的である共に心の支えにもなる代え難い場になっています。

Q：入塾前と入塾後のイメージギャップはありますか？

一言で言えば、「すごい人達が多いわりに、ギラギラしていない」という事になるでしょうか。それぞれに面白い経歴を持ち、職業人としてひとかたならぬ努力を積み重ねてきたメンバーばかりですが、物事を考える時間軸が長いと言うのでしょうか。目先の結果に必要以上に囚われていないのか、対外的には落ち着いた印象の人が多いです。入塾前には、端的に言えば「意識高い仲間との切磋琢磨」みたいなイメージがありましたが、良い意味で予想が裏切られた感じはあります。「すぐに役立つ事ほどすぐに役立つなくなる」と言われますが、長い時間軸で物事を捉え、考え方のスケールが大きいメンバーが多いのがフリーランス塾の特徴だと思います。

以上、簡単ですがフリーランス塾への入塾を検討されている皆さまへの参考になれば幸いです。  
新しいメンバーを迎える事で生まれる新たな可能性にワクワクしています!(^^)!